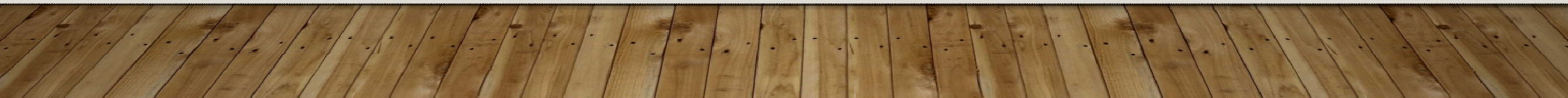


活動報告 文化・スポーツ推進コーディネーター

岡田航汰

文化・スポーツ振興と地域クラブについて



自己紹介

岡田航汰

令和5年10月着任 大阪出身26歳

地域おこし協力隊の傍ら、個人事業主としても活動

22歳で大卒と同時に起業し現在4期目

主として映像・芸能事業を4名のスタッフと登別でも実施中

先日の湯かけ合戦等 地元行事も満喫中

【主なミッション】

- ・文化・スポーツ振興事業の情報発信
- ・地域クラブの運営支援
- ・関係団体と連携した新規事業の企画・実施
- ・指導者人材の発掘
- ・関係団体との橋渡し役



ラジオでの広報活動の様子



湯かけ合戦参戦時の様子



登別市モチーフキャラクター
地獄谷くま
不定期 無償での地元紹介や
週2～生放送で活動中

1、文化・スポーツ振興財団 振興事業

令和6年度実施
「一般参加が可能な事業」
年間イベント日数は約60日

- ファミリーフィッシング
- 初心者英会話教室
- 温泉散策ウォーキング
- 筆ペン習字
- ソフトボール大会
- パークゴルフ大会
- 市民プール祭
- Kids HIPHOP教室
- ミニバレー大会
- 工作教室
- 一龍斎貞鏡講談会
- モルック大会
- ビーズアクセサリー教室
- 他

次ページに一部事業の写真・動画



現状の課題

- ①市民の皆様が存在を知らないことも多い
- ②ご参加頂いた皆様の満足度についてがわからない
- ③新規の参加者が少ない

実施した活動について

①新聞社さんを中心としたメディアへの情報提供や取材の呼びかけ

令和6年度関与した事業の新聞・テレビやラジオへの掲載回数 40回以上

②市民会館でイベント時にカフェを実施 お客様の満足度を高める目的※1

③事業の運営と、動画でイベント自体の雰囲気伝え参加のハードルを下げる※2

市民会館でのイベント時のカフェの様子

市民会館で大型のイベント時にカフェを実施することで、イベントに参加された方の満足度に少しでも貢献できればと思い実施

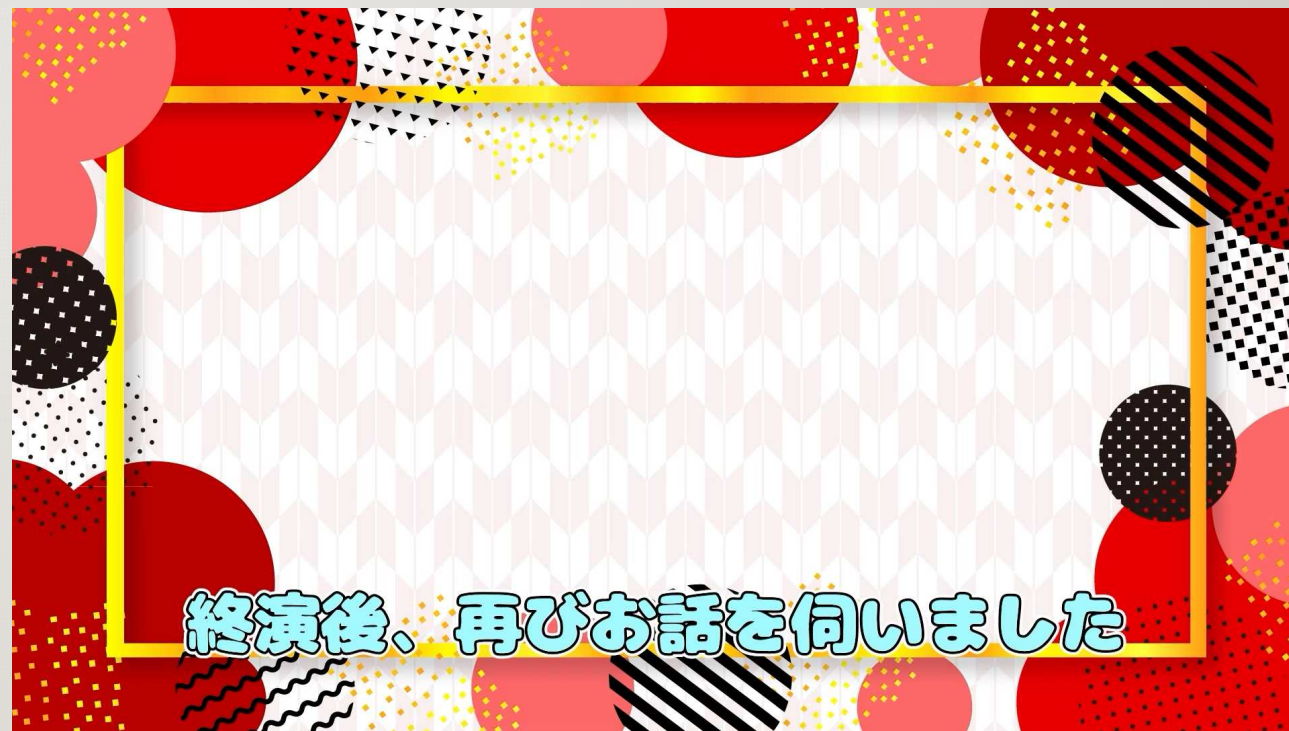
売り上げは文化・スポーツの振興事業等に充てる



撮影・編集・投稿した 動画の一部 (財団YOUTUBEでご覧いただけます)

参加したくても雰囲気がわからないというハードルの解消を目的として実施

またゲストへのインタビューを行ったり、参加者も後から見返すことでより思い出に残るように撮影しています



2、地域クラブに関する活動

- 令和5年度より、全国的にも先行して始まった登別市地域クラブ。部活動から徐々に当クラブに移行し、現在でも6つのチームが活動中。
- 野球・サッカー・合唱・ソフトテニス・男子バレー・卓球
今後さらに学校部活動から地域クラブへと移行予定

地域クラブの課題の例

- 部活動の意識が根強く、部活の代わりということでまだ移行期であり、地域の内外で理解を進めていく必要がある
- 学校の活動ではないので、今までのように部活動紹介を対面で出来ない
- まだOBもおらず先行事例も無い為、市民の皆様が親しみにくい

実施した活動について

- ①メディアでの「地域クラブについて」の広報

室蘭民報社様、北海道新聞様、読売新聞様、HTB様 ラジオ等

複数で特集して報道していただいた。

- ②各校の生徒が文化活動・スポーツ活動を始めるきっかけになればと、各チームの紹介ビデオを作成

※生徒の顔が映る為WEB上での公開はしていない

実施した活動について

③愛称の決定とエンブレムの制作

市内の小・中学生から募集し投票により愛称を決定。

繋がりのあるクリエイターと私自身がエンブレム・ロゴを共作。

グッズを制作する等し、今後広く

「クライムベアーズ」として市民の皆様に関心を持っていただく



今後について

一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の経営状況を鑑みると、次年度は文化・スポーツ振興事業も、一部において規模の縮小が考えられる。そこで、現在費用対効果のある事業のブラッシュアップを主として取り組みたい。

まだ動画化しておらず雰囲気伝えられていない事業があるのでまずは動画でのアーカイブ化を継続・強化していきたい。

協力隊の制度における国の主眼は「定住」だと考えている

残り1年の任期後について、この登別市に定住したいと思っています。一方で現在のミッションである教育の関係で定住に向けての方向性は見えていません。そこで定住に向けて教育に限定する事なく、幅広に活動を進めていきたい。